

令和6年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市勝沼B & G海洋センター			検証日	令和7年7月3日	
	所管課担当名	生涯学習課 勝沼生涯学習・公民館担当		課長名	小林 好彦	作成者名	後藤 みすず
	指定管理者	名称	株式会社 フィッツ				
		代表者	代表取締役 橋本 篤幸				
		所在地	山梨県甲斐市玉川181番地				
		指定期間	令和3年(2021年)4月～令和8年(2026年)3月				
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市勝沼町勝沼1279番地				
		設置目的	市民の健康増進及び青少年の健全育成を図るため、財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団から無償譲渡を受けた甲州市B & G海洋センターを設置する。				
		利用者	市民及び市民以外	施設管理体制	3名	開館日時間等	6月・9月：土日・祝日のみ開館 午後2時～5時 7月～8月：午前10時～午後1時 及び 午後2時～5時 休館日：営業期間中は毎週月曜日 ：10月1日～翌年5月31日
	事業概要	サービス提供の内容					
指定管理業務		(1) 海洋センターの利用の許可に関すること (2) 海洋センターの施設及び設備器具の維持保全に関すること (3) 海洋センターの利用に係る料金に関すること (4) 海洋センターの管理に関し教育委員会が必要と認めること					
自主事業		(1) 水泳教室 (2) 水辺の安全教室・ライフジャケット浮遊体験 (3) わくわくSUP教室 (4) クリーンフェスティバル (5) 海ごみゼロフェスティバル					

管理運営コスト推移(千円)		令和3年度 (指定期間1年目)	令和4年度 (指定期間2年目)	令和5年度 (指定期間3年目)	令和6年度 (指定期間4年目)	〇〇年度 (指定期間5年目)
予算	指定管理料	5,800	5,800	5,800	5,800	
	利用料金収入	50	150	120	120	
	その他収入	110	110	130	130	
	管理運営経費	5,960	6,060	5,990	6,050	
決算	指定管理料	5,800	5,800	5,800	5,800	
	利用料金収入	114	79	85	110	
	その他収入	133	129	87	131	
	管理運営経費	5,640	5,736	5,666	5,422	
収支		407	272	306	619	
施設の稼動状況		令和3年度 (指定期間1年目)	令和4年度 (指定期間2年目)	令和5年度 (指定期間3年目)	令和6年度 (指定期間4年目)	〇〇年度 (指定期間5年目)
指標	利用者数(人)	4,989	5,542	6,369	6,488	
	自主事業利用者数(人)	256	142	111	201	
活動結果		令和6年度の利用者数は、計画(目標)である6,528人には至らなかったが、県内外の団体の利用も増え、昨年比101.8%であった。				

CHECK	評価観点	評価 (5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明
	(1) 事業の運営	3	基本協定書及び事業計画書に基づき、適切に管理運営が行われている。小学生を対象とした水泳教室や水辺の安全教室、SUP体験教室などの自主事業を実施し、利用者の確保に努めている。
(2) 施設の維持管理	3	施設内の整備等については定期的に巡回、点検等を実施し、適正な維持管理に努めている。プール内の水質管理や室温管理等について日常的に点検を実施している。施設外の植栽など定期的に清掃等を実施し、景観の維持管理に努めている。	
(3) 収入支出	4	収入について、利用者は増加しているものの多くは中学生などの免除利用であるため計画を若干下回ったが、支出については効率的な人員配置を組み合わせることで人件費を削減することができている。また、施設維持管理費や事業実施経費の抑制に努めており、黒字で管理運営を行うことができている。	
(4) 総合評価	総合評価の説明(施設所管課による一次評価)		
優良 良好 妥当 要改善 不適		良好	基本協定書及び事業計画書に基づき、管理運営が適切に行われていた。施設内外の利用者の安全第一を考え、快適に施設の利用ができるよう維持管理を行うなかで経費の削減等も行われ、安定した施設運営、管理ができている。

ACTION		評価結果に対する施設所管課の対応
当面の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の維持管理として、以前からロッカーを直してほしいと利用者から要望が出ている。</li> <li>屋内プールではないため、近年の猛暑による熱中症対策等、利用者の安全性を考慮した施設管理が必要となってくる。</li> </ul>	
課題解決への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロッカーについては、R6年度で男子更衣室のロッカーをすべて新しいものに交換した。女子更衣室のロッカーについてもR7年度予算に計上しているため、年度内に対応する。</li> <li>熱中症対策について、B &amp; G財団による救護室の設置に関する特別支援の案内もあるため、今後指定管理者と協議を行う必要がある。</li> </ul>	

二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)

- 仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。利用者からの要望にも適切に対応できているので、引き続き利便性と安全性を考慮した管理運営を行っていただきたい。
- 県内のB&G施設との連携により魅力ある教室が実施され、着実に利用者数を増加させている。
- 効率的な人員配置による人件費削減など経費縮減に取り組まれている。安定収支を継続できるよう努めていただきたい。